

2028年診療開始（予定）

設計・施工業者決定

新中核病院 前へ！

公立学校共済組合による一般競争入札の結果、新中核病院の設計・施工業者（清水建設・伊藤喜三郎建築研究所特定建設工事共同企業体）が決定しました。

診療休診となっていた三島医療センターが、地域医療を支える病院に生まれ変わるべく、ついに動き出します。

建設地 三島医療センター（中之庄町）

敷地面積 約 21,500㎡ 延床面積 約 19,200㎡

より質の高い医療を提供

周辺環境も整備

問い合わせ先 四国中央病院 総務課 58-3515
市医療対策課 28-6157

POINT 1

防災対策を講じた 災害拠点病院

- 災害時、3日間の医療供給が可能
- 非常電源の確保や炊き出しなどで災害時の避難生活を支援
- 災害時でも利用可能なトイレや非常用自家発電設備を設置



COMMENT

公立学校共済組合 四国中央病院 北川哲也 病院長

新中核病院の設計・施工業者が決まりました。明るく、親しみやすく、利便性良く、そして強い病院をつくっていきます。また、当院は4月に厚生労働大臣より「地域がん診療病院」の指定を受けました。宇摩医療圏を代表して、手術・化学療法・放射線治療などの質の高いがん医療を提供するとともに、緩和ケアや患者・家族に寄り添ったがん相談支援などに積極的に取り組んでいます。新中核病院でも、現代の医療ニーズと皆さまの期待に応えられるよう全力で取り組んでまいります。



POINT 2

新興感染症拡大時も 柔軟に対応できる病院

- 感染症用仮設テントから病室へ直接移動できる動線確保
- 感染状況、感染入院者数に応じて病床の拡張が可能



工事期間中、 ご理解ご協力をお願いします

- 現場周辺で工事関係車両の通行が多くなります。
- 工事の進捗状況や内容などは、現地に設置される電子看板でご確認ください。



2024年4月～
各種調査 開始



2025年1月～
解体工事 開始



2026年2月～
建設工事 開始

※作業スケジュールは、変更になる場合があります

